



関西よつ葉連絡会

2014年12月

045号

# よつばつうしん

〒567-0827 大阪府茨木市稲葉町4-5よつ葉ビル4階 Tel.072-630-5610 Fax.072-630-5606  
yotuba-renrakukai@luck.ocn.ne.jp http://www.yotuba.gr.jp/ 発行責任者：中川健二

## 秋の交流会特集

### 「2014秋 よつ葉交流会」 大澤真幸さん基調講演報告 TPPではつくれない 私たちの暮らしの未来

津田道夫（地域・アソシエーション研究所）

「2014秋 よつ葉交流会」は「TPPではつくれない私たちの暮らしの未来」というテーマで、11月22～23日に開催されました。交流会開催の目的は、いうまでもなく関西よつ葉連絡会が事業の理念として掲げている「生産」「流通」「消費」の協同関係の確立にむけて相互交流をはかるというものです。顔見知りになる機会をつくることだけで終わりではなく、現代社会では厳しく利害対立せざるを得ない3者の関係を、協同関係に組み替えていくために何ができるのかについて考え、行動していくきっかけにしたいということです。

#### TPPから日本社会の現状を考える

ちょうどTPP交渉は、アメリカ議会の中間選挙が終わって、さあこれからというタイミングで日本が総選挙に突入。年内合意が困難と決まったタイミングとなりました。

交流会のテーマとしては、この自由貿易交渉の行方がどうなるのかという学習論議の場にとどまらず、なぜ、GATT、WTOと続く貿易交渉が日本の政治課題として注目されているのか、なぜ、歴代自民政権は国内の多くの第1次産業



「いま、社会をどう変えら

んど見えます。ビジネスチャンスとして、そうした変化を熱望する一部の人がちが存在するだろうということも理解できても、なぜ、そんなに力を込めてTPP

#### アメリカに愛されたい日本

僕の考えでは、その理由は、私たちが暮らす現代日本社会の2つの基礎構造に起因しています。大澤さんは、その1つ、日本社会全体が、ほとんど無自覚に抱え続けている「対米従属」という原因を解き明かしてくれました。

簡単に言うと「アメリカ政府がそれを望んでいるから」日本政府はTPP貿易交渉に参加したし、「アメリカ政府が望む方向で」何らかの決着点を見つけざるを得ないという分析です。日本政府が原案推進を止められない理由も同じ原因に基づいていると大澤さんは分

#### 資本主義市場経済への批判の視点を

現代日本社会がTPPを必然的に受け入れてしまうもう1つの理由。僕が考えるもう1つの背景は、資本主義市場経済の存在そのものです。それは至極当然の話なので、今回の大澤さんの講演の中では触れられませんが、このシステムがTPPを必然化しているのは僕が考えています。